



医師不足地域を支える医師



国際医療福祉大学熱海病院
糖尿病・代謝・内分泌内科 医長
国際医療福祉大学 医学部助教
岡元 燈紀子 先生

国際医療福祉大学熱海病院は静岡県伊豆半島の熱海駅から徒歩8分の距離にあります。各階の病棟ラウンジからは海を一望に見渡せ、静岡唯一の有人島である初島や伊豆七島の大島を、海を隔てて真正面に眺めることができます。毎日救急車のサイレンの鳴りやまない救急指定病院ですが、温暖な静岡の地域性なのか穏やかな空気が流れています。

熱海市の高齢化率はすでに47.8%に達し高齢者のとても多い地域です。高齢者医療と聞くと体動困難な患者のイメージがあるかもしれませんが、年齢が上がるほど同年代間で運動能力、認知能力の個人差が大きくなるため、個人の状態に合わせた診療計画が必要となります。高齢者では基礎疾患が増えるため外来・入院患者の管理では1人の症例で多疾患の臨床経験を積むことが可能です。超高齢社会である日本において、高齢者医療の習得は臨床医の必要なスキルの一つです。高齢化の進んだ熱海は日本の将来の医療像を表しているともいわれ、熱海病院での研修はその意味でも得難い経験と思われれます。

また、日本の都道府県の中で医師偏在指数が下位10位以内に入る静岡県ではありますが、熱海病院では診療内容はとても専門家されており、ローテーションを通じて各科の指導医から専門知識を学ぶことができます。初期研修だけではなく、各学会の教育認定施設にも認定されており後期研修の後には専門医の取得が可能です。

現在、熱海病院は静岡県東部、伊豆半島全域、神奈川県西部の医療を支える中核病院として救急医療、地域がん診療病院、災害拠点病院の指定を受けています。観光地なので休日は観光客の飛び込み受診も多く、救急搬送症例も観光地ならではの海岸での外傷や温泉での溺水等、経験可能な症例は多岐に渡ります。

熱海駅は新幹線の停車駅なので学会参加には便利な地域ではありますが、コロナ禍で映像配信方式が増えたため、既に地方にいる不利益は都市部に比べて少なくなっています。臨床研修医として向上心があれば、研修地域に関わらず実りのある研修期間を過ごせると思います。最新の知識を学びながら穏やかな雰囲気熱海病院での研修はいかがでしょうか。